

整理番号	事業名
107	中心市街地活性化推進費

所管部局
経済部中心市街地再生担当

※()の数字は、委員数

所管部局の評価			外部評価	
評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価の妥当性	「妥当でない」と評価した理由
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	中心市街地の活性化は、市の重要施策である「経済の再生」の一つに位置づけられている。	
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当		
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	基本計画に記載されている事業については、おおむね計画どおりに進んでいる。	○市民向けの広報を充実させて欲しい。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適		
コスト負担	コストの節減度	節減できている	今後事業の推進するにあたって必要な経費である。	○将来的には新事業の創出も必要であり、プランニングとマーケティングに基づけば、予算増も可能。 ○終了した事業について、内容を確認し、見直しや新たな取り組みの必要等が見られた場合、予算を増やすことも考えられる。
	将来コスト増減見込み	現在と変わらない		
	受益者負担の適正度	評価対象外		
執行方法	外部委託の可能性	すでに実施	外部委託が可能な業務(通行量調査等)についてはすでに実施済みである。	
	実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)		

所管部局による今後の改善策	
基本方針	現行どおり



今後の改善策について	意見・提言
①現行どおり (2) ②改善(1) ③当面現状維持(1) ④廃止(0)	<p>○市民、企業に対する周知拡大を促進すべき。そのための事業費増加は許容される。</p> <p>○市民の理解と協力を得るための広報が必要。伝える工夫と努力をお願いしたい。</p> <p>○人が集まる条件を整える事業であり、補助金等による直接のサポートでは、計画の実現にはたどりつけない。</p> <p>○新事業の創出に関しては、初期のTMO協議会のような学識経験者も含めた会議で議論し、よりよい街づくりを行って欲しい。</p> <p>○函館市にとって重要な取り組みのひとつだと思う。ハード面が完了した後は、ソフト面の推進、実施を期待している。</p> <p>○関係団体等の密な連携が必要。</p>
外部評価委員会としての提言	
現行どおり	

